

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県県民会館	所管課	生涯学習文化課
所在地	甲府市丸の内1-9-11	設置年月日 (改築年月日等)	昭和35年5月2日
管理方式	指定管理者(公益財団法人やまなし文化学習協会、平成21年4月1日～平成26年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県県民会館設置及び管理条例		
設置目的	県民に芸術文化に関する展示の場を提供するとともに、地場産業等の振興に寄与する。		
主な施設内容 (定員等)	展覧会場1号室(263㎡)、展覧会場2号室(198㎡)		
主な業務内容	(1)県民に芸術文化を創造する喜びや、親しみ、触れる場を提供する。 (2)県民に平等に展覧会場の貸出を行う。		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	山梨県立美術館 県民ギャラリー 甲府市総合市民会館 多目的室 山梨県防災新館(やまなしプラザ) オープンスクエア 山梨県立図書館 イベントスペース
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	入場者	24,671	44,119	37,075	
	利用者数合計	24,671	44,119	37,075	
	目標値	47,500	31,500	31,500	
	目標値設定の考え方	昨年度実績数を 超える数値とし た。	大規模使用が無 くなったため減 った。	昨年度目標値と 同数値とした。	
	対23年度比	100.0%	178.8%	150.3%	
稼働率	28.0%	23.0%	22.0%		

## 4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	1,240,150	1,300,000	1,280,780	
	指定管理者委託料	4,025,000	4,147,000	4,147,000	
	その他	18,080	0	14,800	
	収入合計(A)	5,283,230	5,447,000	5,442,580	
支出	人件費	4,881,531	4,658,000	4,593,673	
	県への納付金	0	0	0	
	管理運営費	595,525	789,000	817,978	
	(うち外部委託費)(B)	0	0	0	
	支出合計(C)	5,477,056	5,447,000	5,411,651	
収支差額(A - C)		193,826	0	30,929	
外部委託比率(B ÷ C)		0.0%	0.0%	0.0%	
利用者一人当りの経費		91	132	112	

## 5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成25年4月～26年3月、実施方法:貸し館利用者へのアンケート、回答数:20団体
-------	--

単位: %

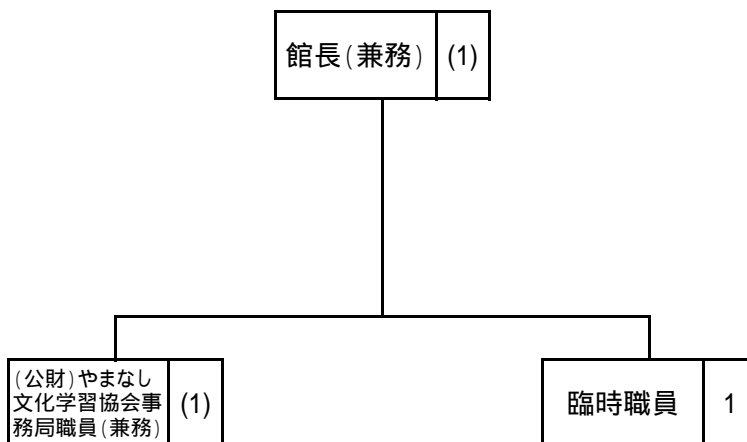
調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
利用日、利用時間	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
利用料金	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
申し込み方法	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
設備・備品の状況	93.0%	0.0%	7.0%	0.0%
職員の接客態度	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
各項目の平均	98.6%	0.0%	1.4%	0.0%

利用者の意見	・駐車場が欲しい。 ・建物が古いので改装して欲しい。
利用者の意見への対応	・公共交通機関の利用のお願いや民間駐車場の案内をした。 ・施設の大規模な改築はない為、現状にてお使いして頂ける様ご理解いただいた。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務仕様書、業務計画書どおり適正に業務を執行した。	この点において、特に問題は認められなかった。
運營業務	業務仕様書、業務計画書どおり適正に業務を執行した。	この点において、特に問題は認められなかった。
自主事業	該当なし	
利用状況	催し物案内(3カ月毎)やHPなどでPR活動に努め、県民会館展示会場の周知を行った。しかし、他施設へ移動したり、サークル自体が高齢化により休止したため減少した。	閉館年としては施設稼働率、入場者数が激減することもなく、堅実な運営であったと評価できる。
収支状況	利用料金収入は目標金額に若干及ばなかったが、支出については出来る限りの削減を行い30,929円の黒字決算となった。	事業計画書の数値をほぼ達成しており、経営状況に特に問題は認められない。
利用者満足度	利用者の声のうち、対応可能なものについてはすみやかに対応した。閉館を周知するとともに、利用団体には図書館や美術館などへのご案内をした。	施設の構造や老朽化、駐車場などの問題に対し、できる限り先回りした対応を行った様子である。
運営目標の達成状況	施設稼働率は、目標値にやや及ばなかったが、入場者数は、目標値を達成した。閉館年であるということ、及び近隣への類似施設(防災新館、県立図書館)の開館という状況がありながら、施設稼働率、入場者数が激減することもなく、堅実な運営であったと評価できる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運營業務等について、条例・協定及び提案等に基づき概ね適正に履行された。また、利用者の満足度を高めるため、施設の構造や老朽化、駐車場などの問題に対し、できる限り先回りした対応を行った様子である。施設利用率については、平成24年度実績から小幅な減少にとどまったが、入場者数については、平成24年度実績と同程度を維持することができなかった。利用実績、収入ともに、閉館年ではあったが、ほぼ計画に沿ったものとなり、堅実な運営であったと評価できる。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	(県民会館展示会場は平成25年度で閉館し、指定管理業務を終了した。)	

7 管理体制(組織図)



通常県民会館には臨時職員1名が勤務し、  
 やまなし文化学習協会事務局と連携を取りながら業務を行う。  
 上記図の「館長」と「(公財)やまなし文化学習協会事務局職員」は  
 同一職員(やまなし文化学習協会事務局長が兼務)。

館長	(1) 人
(公財)やまなし文化学習協会事務局職員	(1) 人
臨時職員	1 人
合計	1 人